令和元年度に大腸がん検診をまだ受けられていない方へ♪

郵送による大腸がん検診を実施します！

大腸がん検診は、便に潜む血液の有無を調べる検査ですが、その検査をより受けやすくするために、希望者に大腸がん検診の容器等をお送りし、便採取後に郵送で提出する方法による検診を実施します。今年度、まだ大腸がん検診を受けられていない方はぜひお申し込みください。

検診の流れ

①郵送による大腸がん検診の申し込みを希望する場合は、健康福祉課地域ふれあい係の窓口、またはお電話にて、氏名・住所等をお知らせください。
②大腸がん検診容器、問診票等をご自宅に郵送します。
③便を採取し、容器に入れ、容器と提出用袋の両方に、氏名・性別・年齢、採便日を記入し、検診費用800円と一緒に、健康福祉課地域ふれあい係へ持参してください。
④ご提出いただいた検体等を、健康福祉課から検診機関である「高知県総合保健協会」に郵送します。
⑤検診結果は1カ月以内に送付します。

問・申込先
健康福祉課　地域ふれあい係
電話　22-7716

申し込みについて

■申込期間
令和元年12月2日(月)～
令和2年2月7日(金)
8時30分～17時15分(土･日･祝日は休み)

■申込方法
電話および窓口にて受け付けます。

検体(便)の提出について

■受け取り可能期間
令和元年12月9日(月)～12月17日(火)
令和2年1月6日(月)～2月20日(木)

■受け取り可能日時
月曜日～木曜日 8時30分～17時
(木曜日は15時まで)
※金・土・日・祝、12月18日～1月5日の間は検体の受け取り不可

■自己負担額
800円　※令和元年度中に40歳・50歳になる方、平成30年度に住民税非課税者のみで構成される世帯であった方は無料

プレミアム付商品券に関するお知らせ

プレミアム付商品券を購入するための申請書の受け付けがまもなく終了します。購入を希望される方は、役場からお送りしている佐川町「プレミアム付商品券購入引換券交付申請書」に記入いただき、健康福祉課までご提出ください。記入内容の確認、審査後に引換券を送付します。

■申請書受付：令和元年12月27日(金)まで

■商品券販売：令和2年2月28日(金)まで

■販売場所：佐川郵便局、斗賀野郵便局、尾川郵便局、黒岩郵便局、佐川冨士見郵便局
※役場が引換券を送付しますので、引換券をもって町内の郵便局で購入してください

■購入限度額：お一人につき、最大25,000円分の商品券を20,000円で購入できます

■使用期限：令和2年3月31日(火)まで
※有効期限を過ぎた場合は、無効となり払い戻しできません

問 産業建設課　農商工係　電話　22-7708

観光・イベント情報・お土産・古民家カフェ
佐川町の観光拠点よりホットな話題をご紹介します
一般社団法人 さかわ観光協会 ほっとステーション
公式Facebook

【さかわ観光協会】
佐川町甲1472番地1
旧浜口邸内
☎0889-20-9500
9:00～17:00
休館日：月曜
(祝日の場合翌日)

第12回 さかわ・酒蔵ロード劇場 2019開催御礼

実行委員会事務局さかわ観光協会

11月16日、秋の一大イベント「さかわ・酒蔵ロード劇場」が、例年に増して多くの方々に支えられて開催できましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。このイベントで上町地区に来られた方が、再び佐川町を訪れ、町内各地域、四季折々の魅力に触れていただく灯となるよう、これからも尽力したいと思います。

12月のイベント情報

●第2回黒岩ふれあい文化祭
学生の作品や、芸術家グループ「アートハウス高知」の絵画などの芸術作品を展示します。また、農産物や加工品の販売、お寿司やうどん等の軽食も販売予定♪
日　時：12月1日(日)　9時～13時
会　場：黒岩中学校
問 集落活動センターくろいわ 電話20-9703

●第45回黒岩短縮マラソン大会
※受付は終了しました
町内外からたくさんの選手が参加します。温かいご声援をお願いします！　会場では、農産物や加工品販売コーナーもありますので、ぜひお立ち寄りください。
日　時：12月15日(日)　8時～13時(予定)
会　場：黒岩中学校グラウンド
問 佐川町教育委員会 電話22-1110

6月の着任当初から携わってきた「わんさかわっしょい体験博」が11月9日で閉幕しました。20プログラムが佐川町の観光資源となり、地元や県内各地、さらには県外の方にまで佐川町の魅力を発信。運営側としても佐川の人材と地域資源のすばらしさを大いに感じるイベントとなりました。運営には多くの課題も残りましたが、次回以降このイベントをより良くするために、高知大学主催の観光カレッジを受講し始めました。初回の講演は山田桂一郎さんという方でスイスを拠点とし、都市経営を専門的にされている「観光のカリスマ」。目から鱗の講演でインプットが追いつかないほどです。なかでも、「これからは地産地消でも地産外商でもなく地消地産ができる地域が勝つ」という言葉が印象的でした。地域のものを消費(使用)して、資源を産出することで「来ないと食べられない、体験できない」唯一無二の財産を作ることができる。わざわざ来たくなる街を地方は目指さないといけないということを学びました。学んだことを地域に形として返せるよう尽力してまいります。